SDGsなモノとコト

結の森プロジェクト

環境保全と地球経済活性化

コクヨ

コクヨは、2006年、高知県四万十町大正地区の民有林を「結の森（ゆいのもり）」と名付け、「人工林の再生」と「自然環境と地域社会の再生」をテーマに、間伐材の有効活用を中心とした森林保全を開始し、2007年よりFSC（Forest Stewardship Council森林管理協議会）の森林認証を取得している。

「結の森」は現在、対象面積は5425㌶、累計間伐面積が1789㌶まで拡大。また、2007年より、高知県から「CO2吸収証書」が交付されており、2019年度単年では5708t－CO2、2006年4月～2020年3月の累計では62・02t－CO2となった。

「結の森プロジェクト」については、『人工林の再生』と『自然環境と地域社会の再生』をテーマに、間伐材の有効活用を中心とした森林保全を行っており、同社の商品開発や営業に携わる従業員や高知県立四万十高等学校の生徒がモニタリング調査に参加するなど、多様な人の参加を促進しながら持続可能な仕組みづくりに挑戦している。

同プロジェクトの環境保全と地域経済活性化の相乗効果をねらう取り組みが評価され、「第18回（2020年度）企業フィランソロピー大賞」の企業フィランソロピー賞「森林の守り人賞」を受賞。

また、「結の森」で間伐された木材の有効活用、全国の地域材を使いたいというニーズにも応えられるように、窓口カウンター（製品名プロコルカウンター）を開発。同商品は天板のエッジに杖倒れ防止や車椅子利用者用グリップなどを採用したユニバーサルデザインにも配慮した製品で、「ウッドデザイン賞2017」を受賞している。

プロジェクトには多様な人が参加して活動

海に漂うプラごみ

リサイクルボールペン

パイロット

「スーパーグリップG オーシャンプラスチック」は、世界20カ国以上の国と地域で様々なリサイクルプログラムを実施している「テラサイクル」（米国本社）が、日本国内で回収した海洋プラスチックごみをリサイクルした再生樹脂を使った国内初の油性ボールペン。

ボディの一部に海洋プラスチックごみからリサイクルした再生樹脂を使用、その他の部分についてもリサイクル素材を使用した、エコマーク認定商品及びグリーン購入法適合商品。

同社は、テラサイクルが日本国内で回収した海洋プラスチックごみからリサイクルした再生樹脂を、国内で初めて筆記具素材として使用することで、海洋プラスチックごみ由来のリサイクル素材の活用を広げ、流通を促進し、その回収の推進及び削減に協力する。

海洋プラスチックごみとは、使用済みのビニール袋やペットボトル、使い捨て容器などプラスチック製品が適切に廃棄処理されないことで、風や雨などにより河川や海に流れ込み、海洋プラスチックごみとなる。時間が経つにつれて劣化し、次第に小さくなるが、自然分解することはなく、微細な小片となり海中を漂う。5㍉以下のものは、マイクロプラスチックと呼ばれ、世界中の海に広がるマイクロプラスチックによる海洋汚染は、生態系への悪影響が懸念されている。

ボディの一部に海洋プラごみ

「パスティック」に

バイオマスプラケース

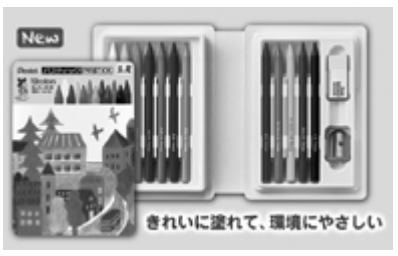
ぺんてる

地球環境と子どもの未来を考えた、ぺんてるの色えんぴつ「パスティック」のバイオマスプラスチックケース。

昨今の深刻な環境問題を踏まえ、未来の子どもたちのためにできることから始めるとの考えから、「パスティック」を、環境に配慮したバイオマスプラスチックを使用したパッケージを2021年から採用している。ケース部分はバイオマス度25％のプラスチックで形成し、日本有機資源協会の認証番号取得済み。

バイオマスプラスチックとは、植物や動物などの生物全般から生ゴミまですべてを含む「生物由来の資源」を原料として、つくられるプラスチックのこと。環境に優しい資源を原料にすることで、地球温暖化の防止や化石資源への依存度低減に貢献するとして、注目されている。

「パスティック」は、1980年に発売された全芯色えんぴつで、今年40年を迎えるロングセラー商品。発色がよく、折れにくいだけでなく、色設計や顔料は同社が長年培ってきた日本のクレヨン・パスの思想を引き継ぎ作られている。



パスティック新ケース

減プラボールペン

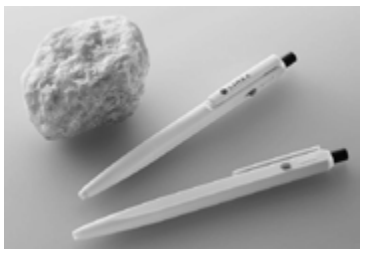
軸材にLIMEXを使用

三菱鉛筆

「uni LIMEX（ユニ・ライメックス）」は、ペンの軸材にプラスチックの代替となる新素材LIMEXを使用した減プラボールペン。ペンの軸材にLIMEXを使用したのは三菱鉛筆が世界で初めて。

福知山市では、市民へのSDGs啓発のため、今年3月18日から福知山市役所の窓口のボールペンを「uni LIMEX」に切り替えた。また、市役所備品のボールペンも徐々に切り替える予定。

「LIMEX」は、炭酸カルシウムなど無機物を50％以上含む、無機フィラー分散系の複合素材。世界40カ国以上で特許を取得しており、日本の優れた技術として、UNIDO（国際連合工業開発機関）のサステナブル技術普及プラットフォームに登録されている。プラスチックや紙の代替製品を製造する際に使用する石油や水や森林資源など枯渇リスクの高い資源の保全に貢献することが可能。「Bio LIMEX Bag」が、G20の大阪サミットのごみ袋や全国のアパレル店舗の袋（ショッパー）で採用される他、ホテルアメニティ（くし）やイベント時の食品容器として導入も進んでいる。


プラ代替になる新素材使用のuni－ライメックス

プラ使用を低減

バイオマス素材の文具

ライオン事務器

「バイオマス文具」は、植物から生成されたバイオマス素材を材料の一部に配合し、石油由来のプラスチック使用量を低減した環境配慮型製品。

2021年2月発売の第1弾は、「デスクマット」、「クリアーホルダー」、「クリアーポケット」の3アイテム。いずれもグリーン購入法適合商品。

「デスクマット」は、上敷きの透明マットに、植物由来のバイオマス原料を15％使用したデスクマット。マットの厚さは程よいコシのある1・2㍉厚。同社ラインアップで、主流の1・5㍉厚マットと比較して商品全体に使用するプラスチックの量を低減し、より環境に配慮した。

「クリアーホルダー」は、バイオマス素材を10％配合したポリオレフィンシート使用のクリアーホルダー。ポリオレフィンシートと強度のあるPPシートを貼り合わせ、一般的なホルダーよりも薄手にすることで、プラスチックの使用量を抑えた。

「クリアーポケット」は、クリアーホルダーと同様に、表面にはエンボス加工は施さずに透明度を高め、バイオマス素材を10％配合した。

3アイテムを発売

琵琶湖のヨシ原料に

○…コクヨ工業滋賀…○

ノートなどエコ文具生産

コクヨ工業滋賀は、琵琶湖・淀川水系に生育するヨシを原料の一部に使い、コピー用紙やノートなどのエコ文具を生産。近年では琵琶湖の形をしたゼムグリップや、琵琶湖と琵琶湖に住む生き物の一部をかたどった付箋、滋賀にまつわる様々なものをデザインしたマスキングテープなど、琵琶湖の魅力を伝えるお土産文具「びわこ文具」を企画・開発し、滋賀を訪れる観光客や地元の人々に人気を博している。

同社はコクヨグループの主力工場として、ノートを中心に伝票やコピー用紙を生産。年間1億冊以上を販売するキャンパスノートの生産を支える、国内最大級のノート工場。滋賀で操業する企業として地元や環境に貢献したいと、ヨシに着目した「ReEDEN（リエデン）プロジェクト」に取り組み始めた。

プロジェクト名の「ReEDEN」とは、re＝還す・帰る、reed＝ヨシ（葦）、eden＝楽園からの造語で、「ヨシで琵琶湖を楽園に戻そう」という願いが込められた名前。ヨシは、琵琶湖の水質浄化やCO2削減といった働きがあると言われ、湖に棲息する魚や水鳥の絶好のすみかとなる。新芽の成長につながるヨシ刈りは琵琶湖の風物詩で、刈られたヨシは葦簀（よしず）などのヨシ製品の原料となっていた。ヨシを刈取る手入れをし、刈られた後に処分されるヨシを紙製品の原料の一部として有効活用しようと始まった。売上げの一部は地元の環境団体やヨシ群落の保全活動に寄付し、環境保全に役立てられている。

琵琶湖の魅力を伝える文具

非食用米から生れた紙素材

○…大栗紙工

「kome－kami（コメカミ）」は、食べられなくなった米で作った紙素材。

紙そのものの持つ、豊かな風合いに米の質感が加わり、ラフでありながら、しっとりした、相反する質感を実現した。色は、艶やかな米を思わせるナチュラルな白さ。

年間の食品ロスは634万㌧。この数値には食用ではないと事業者が判断したものは含まれておらず、本質的には更に大量のロスが発生している。フードバンクでは、食品ロスが出ないように食材を集め、生活困窮者などへの支援を行う活動を行っているが、それでもロスは発生してしまう。

「kome－kami」は、食べられなくなった米や非食用米を集めて紙素材にアップサイクルすることで価値を生み出し、その売上の1％をフードバンクに寄付することで、食品ロスを有効活用できるようにフードバンクを応援している。

カートリッジ回収し再資源

○…キングジム

キングジムは、「テプラ」の使用済みテープカートリッジを回収し、再資源化または リユース（再使用）によるゴミの減量化を図り、環境保全活動に取り組んでいる。

環境保全の取り組みとして、PROテープカートリッジ、点字テープカートリッジをリユース（再使用）仕様とし、回収後の部品の再使用を可能にしている。両製品は（財）日本環境協会の「エコマーク商品」の認定を受けている。

回収方法は、100個未満は近くの「テプラ」使用済みテープカートリッジ回収BOX設置店で回収。100個以上は同社松戸事業所へ着払いで返却。「回収BOX設置店」情報もホームページで公開している。

リサイクルフロー

廃棄時の分別しやすさ考慮

○…サンスター文具

「LaCut（ラカット）」は、一つの工具だけですべてのパーツを分解できる、廃棄時の分別のしやすさを考えたテープカッター。

部品の組立には1種類のネジが使用され、解体時にひとつの工具で容易に素材分別ができるようになっている。また、使い方などをパッケージの台紙に記載し、取扱説明書に使用される紙資源を削減している。

本体の底面が強力なマグネットなので、スチールデスクの天板や冷蔵庫の扉にがっちり貼り付き、使う時にテープカッター本体を押さえる必要がないので、片手でテープを引き出すだけで切れる。

一つの道具で分解できる

ペットボトル再利用の下敷

○…クツワ

PETボトルのリサイクル素材を100％使用した「再生PET下敷」。

教科書・ノートに最適な「B5下敷」（透明とカラー）、授業で使用する副読本・練習ドリルに適した「A4下敷」（透明）、覚えたいポイントを隠して暗記ができる「暗記用下敷」（グリーンとレッドの2色展開）をラインアップ。暗記用下敷は硬質タイプも。

A4再生PET下敷

環境にやさしいオリーブレザー

○…レイメイ藤井

「ダ・ヴィンチグランデ・オリーブレザー」は、100％生物分解が可能な地球環境にやさしいオリーブレザーを使用したシステム手帳。

革とスペイン地中海沿岸のオリーブの葉から抽出した100％オーガニックのエッセンスを使い、スペインの革工場で鞣（なめ）された「オリーブレザー」。その製法は、自然由来の原料を用いて作られることにより100％生物分解が可能であり、最も地球環境にやさしい革と言われている。

「ダ・ヴィンチ グランデ」は、優しい手触りと上質な光沢感に、心地よく香るオリーブの葉のエッセンスが使うほどに革の味わいを深める。

ダ・ヴィンチグランデ